



七松小学校 学校だより

平成29年度
11月号
尼崎市立七松小学校
学校長 森本秀子

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



実りの秋 良書に親しもう

— オープンスクールのご参観、ありがとうございました —

秋深く空はいよいよ澄み、紅葉や落葉の美しい季節がやってきました。10月に実施しましたオープンスクールには、多数の保護者の皆様、地域の皆様が参観してくださり、本当にありがとうございました。いただきましたアンケートは全職員で拝見し、来年度の参考にさせていただきます。また、期間中、始業から終業まで受付をしてくださったPTA役員の皆様には心より感謝申し上げます。11月10日（金）は4年生が尼崎市音楽会（あましんアルカイックホール）に出演、17日（金）18日（土）には校内図工展を開催いたします。ぜひ、ご家族おそろいでご鑑賞くださいますようお願いいたします。

10月9日から4泊5日で実施しました自然学校も、後半は少し雨となりましたが、ほぼ晴天で、大きなけがや病気もなく、活動を無事に終了することができました。野外炊事でカレー作りに苦労した事や、焼き板作り、自然散策、あまごつかみなど、仲間と協力して取り組み、友情を深め合った5日間は、子どもたちにとって自立への第一歩となったことでしょう。自然学校で力をつけた5年生の今後の活躍を期待しています。保護者の皆様には持ち物の準備から健康管理まで、いろいろご配慮をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

さて、実りの秋がやってきました。真心こめて育てられた農作物も収穫され、私たちにとっては心も体も大いに充実する季節です。「秋」はやがてくるきびしい「冬」に負けないように力をつける季節です。おいしい食べもので体に栄養をたくわえるように、読書によって心を豊かにし、夢に向かって力をたくわえたいと思います。日本で初めてノーベル化学賞を受賞した福井謙一博士は、少年時代「ファーブル昆虫記」を繰り返し、繰り返し読んでいたそうです。実はファーブルは一流の昆虫学者であったばかりでなく、なんと一流の化学者でもあったそうです。少年時代の福井博士は、昆虫採集など自然の中で遊び回る一方で、勉強もちゃんとして、何事にも手を抜かずやり抜く心を持っていたと聞きます。読書は、後にノーベル化学賞をもらう、大きなきっかけであったことと思います。まず毎日15分間、本を開くという良い習慣を身につけましょう。読書は生涯のかけがえのない力になります。

学校ホームページ「校長室の窓から」 (一部抜粋) —健康な体づくり「減塩」—



学校評議員でもある勝谷友宏先生から、6年生と保護者にご講話をいただきました。塩の取りすぎは高血圧、脳卒中、心筋梗塞にもなること。一日の摂取量は成人男子で8g、女子で7gまで。減塩のコツは漬け物や加工食品缶詰などを控え、ラーメンの汁は飲まないこと。天然の昆布やかつおぶしでだしを取ると塩はいらないことなど、かる塩レシピの紹介もありました。ちなみに尼崎の給食は減塩でおいしく、全国に誇れる給食だそうです。